

## (業務支援基盤整備に係る政策)

### 分野1 人的資源

課 題	1－(1) 専門性の高い人材の育成・強化
政 策	1－(1)－① 人材の育成・強化のための諸施策の実施

#### 【評価結果の概要】

金融の複雑化・高度化に対応した専門性の確立を図るべく、金融実務に関する専門的な研修の受講機会の拡大などに取り組んでいますが、高度な専門知識を有する職員の育成、強化が必要不可欠であることから、適時適切に見直しを行い、研修内容の充実・強化を図っていく必要があると考えています。

一方、法律や会計分野における高度の専門的な知識を有する弁護士や公認会計士などを、任期付職員法に基づく制度を活用して積極的に採用しました(19年6月1日現在：215人)。

### 分野2 情報

課 題	2－(1) 行政事務の効率化のための情報化
政 策	2－(1)－① 行政事務の電子化等による利便性の高い効率的な金融行政の推進
課 題	2－(2) 金融行政の専門性向上のための情報収集・分析
政 策	2－(2)－① 専門性の高い調査研究の実施

#### 【評価結果の概要】

利便性の高い効率的な金融行政の推進に向けて、業務・システムを分析し、業務横断的な情報連携を視野に入れた全体最適の観点に立って、18年3月に主要業務・システムについて策定した最適化計画を着実に実施していくことにより、業務処理時間や経費削減などの効果が見込まれます。最適化計画の下、引き続き最適化の実施に向け

てシステム設計・開発を行う必要があります。

専門性の高い調査研究の実施については、金融環境の変化に応じた調査研究の成果として、金融研究研修センターにおいて 11 本の研究論文等を取りまとめたほか、研究成果を庁内へフィードバックするためにシンポジウムや国際コンファレンス等を開催するなど、職員の専門性・先見性向上の機会が提供されたと考えていますが、引き続きより一層の充実が必要であると考えています。